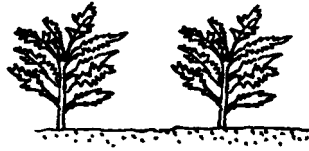


### 間引き

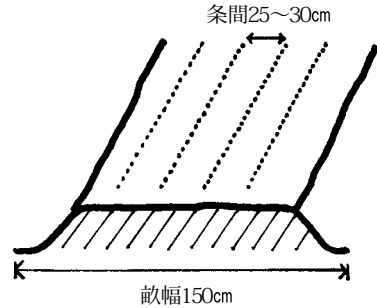


本葉2～3枚のころ、  
3～4cm間隔にする。



本葉7～8枚、草丈15cmぐら  
いのころ、5～6cm間隔にする。  
摘み取りの場合は10cmぐらいに。

### 種まき



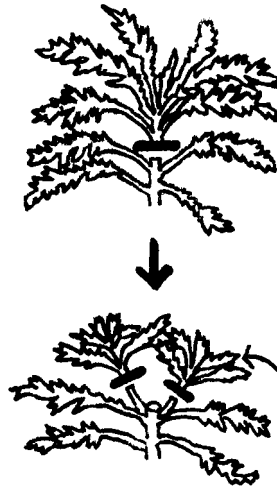
### 収 穫

#### 〈間引き収穫〉



本葉7～8枚、草丈15cm  
くらいになったら順次間  
引き収穫すると品質の良  
いものが得られます。

#### 〈摘み取り収穫〉



本葉10枚くらいになっ  
たころ、下の方の葉4～5  
枚を残して中心の茎を摘  
み取る。その後、わき芽  
が草丈15cmくらいに伸び  
たところに再び収穫し、以  
後これを繰り返す。

伸びたわき芽

### 今月の作業

#### ★今月まく野菜

ハクサイ、つけ菜、キャベツ、ダイコン、レタス、タマネギ、ネギ、ニンジン、ホウレンソウ、中国野菜などがあります

#### ★今月植える野菜

レタス、キャベツ、ハクサイ、セリ、フキ、ユリネ、ジャガイモなどがあります。

#### ★追肥の施し方

追肥は、肥料の適量を根が吸収しやすいところに与えることが肝心です。根から離れすぎても、追肥の効果が劣るし、あまり根元近くでは根への障害が出やすくなります。与える位置の一応の目安としては、根の先端付近がよいでしょう。根の張っている所を、あらかじめ少し掘って確かめてみてから決めるのが、良い方法です。

なお、土が乾燥していると肥料が根に吸収されないので、施肥の後には十分かん水する必要があります。

# 楽しい家庭菜園



農業試験場三木分場  
伊藤 博紀

## シュンギクを作ろう！

シュンギクは地中海沿岸から南ヨーロッパが原産です。五月頃、黄色いきれいな花を咲かせます。ヨーロッパでは、主に観賞用で、食用とするのは日本と中国だけだそうですね。ビタミンA、Cが多く、カルシウムも比較的多く含んだ、栄養価の高い野菜です。

①栽培のポイント  
土質はあまり選びませんが、乾燥には弱いいため、堆肥などの有機物を多く入れて、水はけと水持ちの良い土をつくりましょう。  
一年中栽培できますが、秋まきが最も栽培に適しています。

②家庭菜園に適した品種  
品種は少ない方で、葉型によって大葉種、中葉種、小葉種に分けられる程度です。一般には葉の切れ込みが多く、葉の厚みもある良質な中葉種が好まれます。

③畑の準備  
種まきの二週間前に、 $10\text{m}^2$ 当たり堆肥二十kg、苦土石灰一・五kgをまいて、荒起しをします。一週間前には、 $10\text{m}^2$ 当たり化成肥料1kgを施し、平畝を作ります。

④種まき  
二五～三〇cm間隔に浅い溝を切り、種を $1\text{m}^2$ 当たり十～十五mlを目安に均等にまきつけます。シュンギクの種は、発芽するとき光線が必要とするため、土は薄くかけることが種まきのコツです。また、土が乾いていると発芽が悪くなるので、種まき前後とも十分にかん水する事が大切です。その後も、発芽が揃うまでに時間がかかるので、乾燥しないように適宜かん水します。

⑤手入れ  
本葉が二～三枚時に三～四cm、七～八枚時には十cm間隔に間引いて収穫します。生育が順調ならば追肥の必要はありませんが、生育が悪いか、葉の色が薄い場合は、うすい液肥（四〇〇～五〇〇倍）をかん水を兼ねて施します。

⑥収穫  
初期は間引きによって収穫しますが、その後は、下葉四～五枚を残し中心の茎を摘み取って収穫し、わき芽が伸びたら再収穫します。

### 栽培時期

時期 作型	8	9	10	11	12	1	2	3	4	適する品種
秋まき栽培		○	—	■						中葉種

○ 植え付け    ■ 収穫